

ナイアガラ・ピースブリッジ

Bridges of the World

カナダ・フォートエリー／アメリカ・バッファロー



カナダ・1977年発行



アメリカ・1977年発行

ピースブリッジは、五大湖のエリー湖からオンタリオ湖へ流れるナイアガラ川の南端付近に架かっています。川の西側の流れがカナダとアメリカの国境になっていますので、国境を跨ぐ橋です。西側のカナダ、オンタリオ州のフォートエリーと東側のアメリカ、ニューヨーク州のバッファロー市を結んでおり、橋の総延長は1770m、中央部の橋台間の長さは1090mです。橋上の有効幅はおよそ15m、3車線と歩道が設けられています。

東側のブラックロック運河の上にスパン約110mの下路式のパーカー型鋼トラスが、本流部にはスパン105～129mの5径間の上路式鋼アーチが用いられています。アメリカ側の沿岸が港として利用されており、大型の船が通るために橋の下の高さを確保する必要があり、下路式のトラスが適用されました。

橋の開通は1927年6月で、およそ90年前のことです。1919年から両国間の協議が始まり、民間出資も募って有料橋事業として1925年に建設が始まりました。出資の回収と橋の保全のために公共橋事業機関が設立され、現在

もこの機関が橋の管理に当たっており、通関手続や出入国検査などの事務はもちろん、免税店の経営などにも関与しています。

橋の名前は、1812年に始まり、2年余りにわたって続いた米英戦争の際、エリー湖やナイアガラ川など、現在のカナダ、アメリカ国境付近が主戦場になり、多くの犠牲が出たことの反省から、両国間の平和と友好を祈念して付けられました。開戦の直前、イギリスはナポレオン率いるフランスと戦争しており、船員不足からアメリカの船や港からもイギリス人船員を強制徴募したことや大陸封鎖などによってアメリカの貿易が打撃を受けたことなどからアメリカが宣戦布告しました。

ピースブリッジを利用するトラックなどは年間500万台近くになっていますが、3車線しかないため、交通量を見計らって1車線の方向を適宜変えながら、効率よく運用されています。また、この橋には歩道が設置されていますので、歩行者も自転車も通行ができますが、もちろん国境を越える手続きは必要です。

